

新潟教育会報

第86号

公益財団法人新潟教育会
(新潟教育会館内)

代表理事 川端 弘実

〒950-8104

新潟市中央区西大畑町590番地3

TEL/FAX 025-222-2971

URL <http://kyouikukai.jp>

E-mail 事務局 jimu@kyouikukai.jp

研究所 kenkyujo@kyouikukai.jp

休館日 月曜日



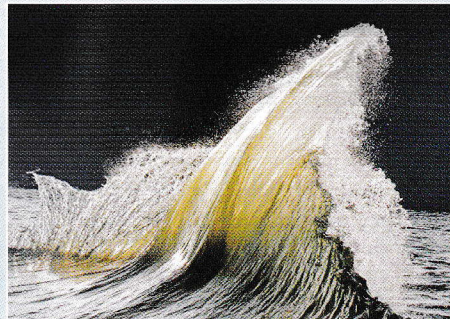
①



②



③



④



⑤

①早春の佐渡金北 (洋画)

②白い網 (日本画)

③和風茶棚 (木彫)

④波濤 (写真)

⑤岩たか (铸铁)

新潟教育会館「所蔵美術品」紹介 ～PART 3～

川を上れ 海を渡れ

代表理事

川端 弘実



この表題は、1887(明治10)年4月に創刊された「新潟新聞」以来百四十年を記念して新潟日報社から発刊された記念誌の表題です。「はじめに」では、小田敏三社長さんが、以下のように記されています。

「川を上れ」とは、信濃川の上流に向かってさかのぼるよう
に先人たちの苦闘の歴史を学び、自分の足元を再確認する。自
らがよって立つ土台を強固にしながら、新たな使命を奮い立
せてほしい。

「海を渡れ」とは、日本海の大草原にこぎいで新潟を外か
ら見つめ直し、良さの発見や課題を見つける。その上で未来に
向けて果敢にチャレンジしていく強い信念を持つてほしい。

この言葉・文章から、そして書籍全体を通して、新潟日報社
の気概と熱き想いがひしひしと伝わってきました。

教育界で語られる「不易と流行」という語句には、従来から
少し違和感があったのですが、この「川を上れ、海を渡れ」と
の語句と説明には、とても共感できるものがありました。また、
「温故知新」の「故(ゆえ)」には過去の出来事の由来や理由・
背景という意味が、「温(あたためる)」には自分自身の中で深
く受け止めるという意味があります。したがって、「温故」には、
「川を上れ」と共通するものがあります。

社会に開かれた教育課程、特別の教科道徳、小学校英語、プ
ログラミング学習をはじめ、新学習指導要領の全面実施に向か
って歩みを加速する時期に当たり、改めて「川を上れ」「温故」
の重要性を感じています。そして、複雑で予測困難な社会を歩
む子どもたちがたくましく未来を切り拓くために、どのような
教育活動を行っていくべきかを考えると「海を渡れ」との想い
でいっぱいになります。自信と誇りを確かなものにしながら！

事業報告

夏季大学講座

・期 日 8月6日(日)
・会 場 朱鷺メッセ マリンホール
・参加者 約800人

教師や社会人としての資質を高める機会とするために、教育に関する原理的研究や教育課題解決の方策及び社会問題等について学ぶ講座を実施した。

○講師 伊藤 聡子様

フリーキャスター

○演題 「これからの学校づくりに期待すること」

〈受講者の声〉

▼一番心に響いたことは、社会を変えるリーダーを求められたことだ。

社会の変化に対応できる力をつけるだけでなく、社会を変化させる人を育てる。それには、能力と人間性に加えて芯がなくてはならない。

子どもの可能性を広げる学

一年の歩み



第43回 教育相談研修会

・期 日 8月17日(木)
・会 場 じよいあす新潟会館
・参加者 23人

子どもの問題行動を解決し、解消するために、信頼関係の確立や子ども理解の力量を高めるための研修講座を実施した。

〈受講生の声〉

▼生きていく中で、持ってしまった悩み、持たされてしまった荷物を、ひとりで持つて歩むのは大変です。子どもたち・保護者・同僚、そして、となり合った人たちの荷物(悩み)をその人ごと丸ごと受け止められるような聴き方をしたい人間になりたいと思います。

▼居心地のいい集団の中で、気持ち良く学びを深めることができました。これはきっと、参加者もスタッフの皆さんも、相手を想う気もちを強くもっているからだと思います。

また、このような集団の中で、失敗を遠慮なくできている自分もいました。失敗したことから学ぶことが多くあったように思います。失敗も心地よくできる集団、とてもありがたかったです。



保護者のためのカウンセリング講座

・期 日 9月3日(日)
・会 場 新潟教育会館
・参加者 7人

自分の気持ちを聴いてほしいという子どもの思いを、効果的に聴き取ってやる方法についての講座を実施した。

〈参加者の声〉

▼「大丈夫?」という言葉がけがNGワードとは。確かにそう尋ねられたら「大丈夫」と言い返されそう。納得しました。Yes、Noでしか答えられない質問はひかえようと思いました。

今日、講座で聞いたことを、早く帰宅して家族に試してみたいとおもいました。

▼話をきいてあげることがなかなかできず、子どもとの会話がいつも一方的になつてしまっているのに、どうしたらいいのか悩んでいましたが、この講座を受講して、具体的な接し方・きき方が分かりとてもよかったです。上手くきけるのか少し不安はありますが、今日の事を思いだして、子どもと接していきたいと思えます。

教師力アップ講座

・期 日 7月26日(日)
・会 場 新潟教育会館
・参加者 延べ45人

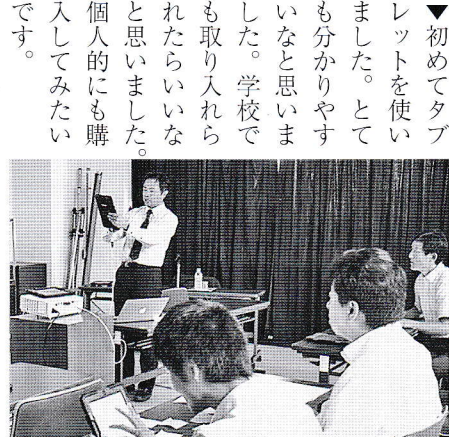
具体的な指導方法を学ぶための2講座を実施した。

○第1講座

「主眼的・対話的で深い学びのためのタブレット端末活用」
講師 片山 敏郎様

日本デジタル教科書学会会長
新潟市立新潟小学校教諭

〈受講生の感想〉



○第2講座

「主眼的・対話的で深い学びのスタートラインにつく学級集団づくり」

講師 吉澤 克彦様

上級教育カウンセラー

新潟大学教職大学院教授

〈受講生の感想〉



▼明日から使えるようなエンカウンターを具体的に教えていただきとても勉強になりました。改めて、学級経営の大切さに気づく、とてもいい機会になりました。

新潟教育会

第21回教美展

・期間 11月25日(水)
10月31日(火)
・作品鑑賞・解説会
10月28日(土)
新潟県民会館
(ギャラリーA)
・レセプション
10月28日(土)
じよいあす新潟会館
教職員(退職教員を含む)
等に美術作品の発表と鑑賞・
技術向上の機会と場を提供す
るとともに、多くの鑑賞者に
生涯学習や、豊かな心の教育
についての理解を深める美術
展覧会を実施した。

今年度は、第21回展という
新たな歩みを進める年となった。

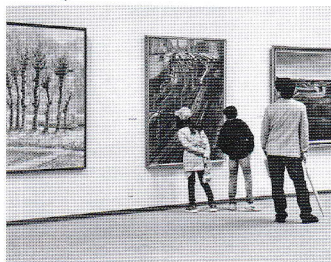
○出品部門及び出品数(点)

日本画(7)・洋画(47)
版画(3)・彫塑(4)
工芸(14)・書道(20)
写真(19)

○出品総数 114点
○入場者数 1021人

〈入場者の声〉

▼静かな中で、
若干おしゃべり
しながら拝見。
力作ぞろいで、
でも威圧感はな
く、とてもいい
時間でした。量、
展示の仕方の工



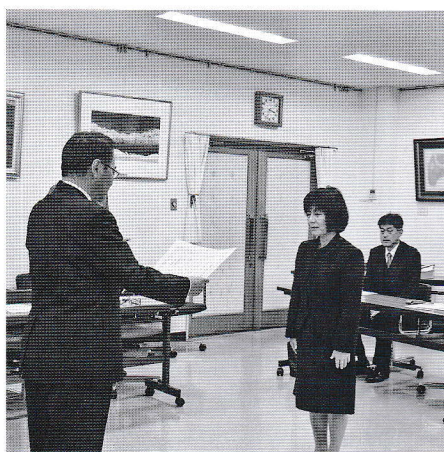
夫もきつとあるのでしょね。
▼例年になく力作が多く、すばらしい展
覧会であった。絵画、工芸、書に優秀な
作品が見られて感動した。

特別支援教育の助成

・選考委員会 9月26日(火)
・理事会で決定 10月14日(土)
・助成金授与式 11月14日(火)
県内小・中学校の特別支援学級、特別
支援教育諸学校(学級)及び特別支援教
育の教室の6校(級、室)に、各5万円
を助成した。

〈助成校〉

○三条市 裏館小学校
○新発田市 外ヶ輪小学校
○新潟市 早通南小学校
○妙高市 新井中学校
○長岡市 越路中学校
○佐渡市 金井中学校
昭和47年以降本年度まで、助成した学
校(学級)は、363校(学級)に及んでい
る。



「教育調査報告書第7号」の発刊

「教育調査報告書」は、様々な教育課
題について、教職員や保護者の意識や実
態を調査し、発刊を通して、現状と改善
の方法を提言することをねらいとしてい
る。

本年度は、多忙化解消(小・中学校)
について取り上げた。

○発刊 平成30年2月25日

教育会館の活用

新潟教育会館の研修室、資料室を教育
研究団体や要請のあった団体に貸与し、
施設の活用を図った。(3月の予約含む)

・使用団体 延べ307団体
・使用者 延べ661人



教育情報の発信

有意で適時性のある教育諸情報をホー
ムページや各種広報誌で発信した。

※「教育会報」(年3回)「教育研究所
所報」(年3回)「ホームページ」「要
覧」等

会務報告

〈平成29年〉

4月18日(火) 会計監査会
4月19日(水) 第1回連絡会
4月22日(土) 第1回評議員会
5月13日(土) (定時評議員会)

6月2日(金) 第2回理事会
29年度事業案内、上記刊行
物等発送
6月13日(月) 第2回連絡会
6月17日(金) 「冊子 報告書」発刊
6月25日(土) 「第43回教育相談研修会」
実行委員会
6月27日(火) 資料選定委員会
7月15日(土) 「第21回教美展」
第1回実行委員会

8月27日(日) 教育アドバイザー説明会
8月30日(水) 資料選定委員会
9月2日(土) 第21回教美展小委員会
9月6日(水) 第3回連絡会
9月26日(火) 特別支援教育助成校
選考委員会
10月14日(土) 第3回理事会
11月1日(水) 資料選定委員会
11月14日(火) 第4回連絡会
12月3日(土) 「第21回教美展」
第2回実行委員会

10月14日(土) 第3回理事会
11月1日(水) 資料選定委員会
11月14日(火) 第4回連絡会
12月3日(土) 「第21回教美展」
第2回実行委員会

〈平成30年〉
1月17日(水) 第5回連絡会
2月3日(土) 研究論文執筆説明会
2月24日(土) 「第22回教美展」
第1回小委員会
2月28日(水) 第6回連絡会
※3月17日(土) 第4回理事会
※3月28日(水) 第2回評議員会
※3月28日(水) 第7回連絡会
※は、実施予定

教育アドバイザーの派遣

現職の皆さんの教師力の向上や保護者の皆さんの子育てを支援するため、29年度は43件の要請に対して教育アドバイザーを派遣した。校内研修、PTA活動、サークル・団体の研究活動等の諸活動に対する派遣である。現在、当研究所に登録している教育アドバイザーは86人である。経験と識見豊かな教育アドバイザーを大いに活用願いたい。

派遣の傾向

◎支援対象

校内研修が全体の5割弱を占めた。校内研修では授業研究での指導・助言、講話などが行われている。地域のサークル活動等への派遣も多い。

「教育研究論文集第24集」の発刊

県内の小・中学校及び特別支援学校教職員の優れた研究実践や研究成果を広く紹介し、読者である教職員の研究意欲と資質・指導力の向上を目的として、「教育研究論文集」を発刊する。

本年は、第一次で発刊は次年度であるが、応募締め切り日を12月1日とし一般公募を行った。



月別派遣実績

4月	1
5月	4
6月	1
7月	5
8月	11
9月	4
10月	2
11月	5
12月	4
1月	0
2月	5
3月	1

月別では、8月が大幅に増加した。夏休み、ゆったりした日程の中で真剣に研修に励んでいる教員の姿がうかがわれる。休日や夜間の派遣にも対応している。

◎地域別の派遣

新潟市を含む下越地区は25件、中越地区は17件であった。特に、新潟市、新発田市、十日町市の皆様から多数活用していただいた。教育アドバイザーは県下各地に居住しており、派遣に対応している。29年度版「教育アドバイザーリスト」を作成したので、ご覧の上さらに活用願いたい。

◎応募者総数

・総合学習	37人
・生涯学習	5人
・キャリア教育	1人
・国語(小)	2人
・社会(小)	1人
・社会(中)	1人
・算数	1人
・数学	4人
・理科(小)	1人
・英語	2人
・音楽	1人
・図画工作	1人
・体育(小)	2人
・体育(中)	8人
・家庭	2人
・道徳	1人
・特別活動	1人
・生徒指導	1人

教育資料室からのお知らせ

教育資料室の整備は、以前会報に掲載しました左記一～三に沿って作業(資料の廃棄、新規配架等)を進めております。現在は「空きスペースの確保」「新規配架」「データベース作成の準備」等を行っています。

一 現存資料で今後も保存する資料

- 1 新潟教育会の資料
 - 2 教育史上の貴重な資料
 - 3 教育関係諸機関の記念誌、名簿など
 - 4 県内の師範学校にかかわる資料
 - 5 新潟県内の教育資料
- 二 今後収集・保存する資料
- ① ④の資料
 - 三 活用しやすい資料室に向けて
 - 保存資料以外は他へ移動又は廃棄する
 - 蔵書データベースを作成し、活用する

右記①～④を寄贈いただく場合、事前に電話やメール等でお知らせください。

○提供される資料の全てをお受けできない場合があります。

○寄贈後の保管・管理・活用・廃棄など一切を教育会にお任せ願います。

資料室の整備・寄贈資料の受入・蔵書データベースの作成等は「資料選定委員会」を中心に取組を進めています。

《資料選定委員会》

斎藤寿一郎(委員長) 伊藤 充
羽入正路 川端弘実 熊倉忠夫
樋口光栄 五十嵐幹郎

来年度の研修会等予定

○第10回教師力アップ講座

・7月29日(日)

・新潟教育会館

○夏季大学講座

・8月4日(土)

・長岡リリックホール

○第44回教育相談研修会

・8月16日(木)～18日(土)

・じよいあす新潟会館

○保護者のためのカウンセリング講座

・9月2日(日)

・新潟教育会館

○第22回教美展

・平成31年1月10日(木)

・16日(水)

・新潟県民会館ギャラリーA(3F)

あとがき

本号は、本年度の会務及び事業の報告を中心に編集しました。

皆さまのご支援のおかげで、当初計画した事業等が無事に実現できました。ありがとうございました。

新潟教育会館は、月曜日を除く、平日の午前9時から午後4時まで開館しております。土・日の利用も可能ですので、大いにご利用下さい。